

# セルフモニタリング報告書（令和6年度分）

令和 7 年 4 月 18 日

施設名：西部（錦岡・日新）児童センター  
 指定管理者名：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社  
 所管課名：健康こども部 青少年課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価				
<b>1 事業計画の達成度</b>						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	施設の機能を効果的に活用して、事業内容を概ね計画どおりに進めることができた。児童の体育的な嗜好を運動室で生かし、また、他の部屋を創作活動や読書活動などに利用したりしながら、こどもたちが遊びを通して健全な心と体をつくっていきけるように多くの取り組み及び日常生活におけるこどもたちへの支援を、利用者の意見を聴きながら創意工夫して行ってこれた。	A	B	C	D	E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	日新の利用は横ばい、錦岡の利用は大きく伸び利用者には満足頂けたと思います。遊びの環境を提供し、仲間とのつながりを持たせ、心のよりどころとする施設となれるように日々努力してきました。児童のアンケートより、センターをだれもが気に入っていることが多いことがうかがわれる。また、幼児の保護者からも、利用できることへの感謝の言葉が多く聞かれていることから、両施設と共に利用者に認められていることがわかる。	A	B	C	D	E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		-	-	-	-	-
自主事業は計画どおり行われたか。	都合により日時を変更したものもあるが、事業報告等に記載した通り概ね計画どおりに実施できた。	A	B	C	D	E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	日新では日新小学校と、放課後児童クラブの開設のために、日課の連絡、児童の指導などの相談などの面で協力をして頂いています。また、明倫中のボランティア部との交流が多く、館内の装飾やイベント（祭）の手伝いなどの協力を頂いています。錦岡では地域の凌雲中学校区学校運営協議会（コミュニティ・スクール）のメンバーとして、今後も地域や町内会等の課題等を共有しながら、より良い施設になるようにご支援を賜わりながら推進していきます。	A	B	C	D	E
<b>2. 利用者の満足度</b>						
利用者の満足が得られているか。	両館共にアンケートの結果でも多くの利用者の方が施設の利用について満足・やや満足とのご回答を頂いています。具体的には、これまでどおり、職員の対応、児童センターの行事等について、満足の数値が80～90パーセントに至っていることやこどもからは児童センターは楽しいという声、保護者からは、スタッフの対応が親切だという声が多いことから利用者に信頼されていると思われま。	A	B	C	D	E

<p>利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。</p>	<p>利用者のご意見・ご要望は、年度末にアンケート調査を実施し、集約した。また、意見箱を設置し、日常的に意見や要望を受けつけるようにしている。 その結果は、ホームページなどを通して公開していく。</p>	A	B	C	D	E
<p>利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。</p>	<p>今年度について幸いほ苦情は無いが、利用者からのご意見・ご要望・苦情については即座に、エリアマネージャーと相談したり、青少年課の担当者の方に助言を求めたりしながら、対応するように心がけている。アンケートより、お迎え時に、駐車場が暗いと指摘があり、簡易的な街灯を設置することにした。</p>	A	B	C	D	E
<p><b>3 管理運営の効率性</b></p>						
<p>経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。</p>	<p>これまでどおり、消耗品等の使用について、年間の予算内で十分に賅えている。消耗品の購入については、ストックを増やさず、数量を管理して、発注することに努め、無駄を減らす努力をしています。また、日新は昨年より、暖房が集中暖房からガス暖房に切り替わり、使用料等を比較すると大きな経費節減が図られました。</p>	A	B	C	D	E
<p>一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。</p>	<p>窓清掃や外の雑草芝刈などは委託業者をお願いしております。</p>	A	B	C	D	E
<p>収入増加のための取組はされているか。</p>	<p>日新は貸館そのものが少ないので、他館とは比較にならないだろうが、貸館の利用が、これまでよりも増えてきた。 錦岡の貸館利用は安定しており、利用者さんとのコミュニケーションを密にしながら継続利用をして頂いております。</p>	A	B	C	D	E
<p><b>4 適正な管理運営</b></p>						
<p>職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。</p>	<p>研修の内容が充実したものになるように関係機関の研修を含め、見分を広めることができました。また、スタッフの経験を配慮し、業務を分担しより多くの業務に精通できるようにしている。弊社にて接遇研修の実施や同じく弊社東京のスタッフが講師となったチャイルドケアプログラムリモート研修等を実施し、利用する学童への適切な理解・支援を深めています。</p>	A	B	C	D	E
<p>安全対策（事故防止等）は十分だったか。</p>	<p>安全対策については、職員が用具・道具等を定期的に点検し、十分に安全が確認されたのち、利用者にご利用いただいています。 利用者様にとって、安全・安心を実感できる環境を提供しています。また万一が事故が起きた時の対応方法・対処方法を職員研修に位置付けております。</p>	A	B	C	D	E

人員配置及び職員の管理体制は適正か。	児童センター及び放課後児童クラブの規定により、センター長が人員の配置確認表をもとに、適切な人員配置を行い最終営業所にてチェックして人員配置しています。	適		不適
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	貸館、年齢別利用など、不満なく適切に行われています。	適		不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	弊社は全職員に対して入社時に個人情報の講習を行っております。また会社全体でプライバシーマークを取得しており利用者の個人情報保持の為、管理しております。また日頃利用する個人情報は児童センター事務所内の鍵のかかるロッカーで管理・保管しております。	適		不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	利用者からの貸館施設利用料については児童センター管理室内で受け取り後、センター長の一次受け取り・保管、弊社事務担当の管理・入金後、苫小牧営業所長が最終確認しております、複数の職員が管理することにより、不適切な会計処理が起きない様にしております。	適		不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検、定期点検については、外部委託業者が管理し、安心安全に使える施設管理を行っている。	適		不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	文書保管の年限に基づき、整理整頓して保存している。また、備品管理台帳に基づき定期的に点検し、適切に管理している。	適		不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	指定管理を受けて以降、全社共通の従業規則を元に職員研修を行い、全職員がコンプライアンスを重視した取り組みを行っている。	適		不適
<b>5 地域貢献</b>				
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	雇用に関しては全職員が苫小牧在住で地元出身者のスタッフも多い、また、資材の調達、業務委託なども地元の業者を中心にしている。放課後児童クラブの実施において、地域住民の就労支援に役立っていることはもとより、地域のこどもたちの居場所として、その他町内会での利用など、地域に貢献できている。	A	B	C D E

- A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

## 総合評価



【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

### 〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

#### 指定管理者の自己評価（全体を通して）

保護者へのアンケートから伺えるように、「こどもが休みの日も行きたい。」とか、「職員さんにはいろいろな遊びや学びを教えていただき感謝している。」とか、「いつも楽しい放課後を過ごさせていただき感謝しています。」など、喜んで頂いている声が多く聞かれることは、館を運営させて頂く側としては大変光栄です。私たちの児童センターは、児童のアンケート結果に見られるように、遊具、ルール、イベントへの満足度、センターのスタッフの対応についての満足度などをみても高い評価であり、日々の業務へのやり甲斐を感じることができるものである。

また幼児の利用、イベント等でも多くの来館者に来て頂き、お母さん同士のコミュニケーションの場としても、利用されている様子がみられ、広い世代に受け入れられているといえる。

さらに、中学生の今年度の利用者が、高校にいてもきますとの声が多いことから、自然に利用者が増えていくことに期待できると考えています。今後、小学生のみに限らず、中高生など多くの年代のこどもたちに、好かれる児童センターとして、質の向上に努めていきたいと考えます。

この間、大きな事故もなく管理・運営できているのは苦小牧市健康こども部青少年課の方をはじめ多くの方々にご指導を頂いているおかげと考えております。

引き続き利用者増加に向けて尽力していきたくと考えております。次年度以降も経費削減も並行して実施していき、より一層の管理・運営を行って参ります。